

## 「ありがとう」と「笑顔」のあふれる長七小

長岡京市今里北ノ町 35 番地

Tel (954)6500 Fax(951)5394

e-mail [nagaoka7-es@kyoto-be.ne.jp](mailto:nagaoka7-es@kyoto-be.ne.jp) HP <http://www.kyoto-be.ne.jp/nagaoka7-es/cms/>

〈めざす子ども像〉

よく聞きしっかり話せる子ども

ねばり強くやり抜く子ども

人を大切にする子ども

## 体験を通して学ぶ

校長 平野 律子

2月後半は春を思わせるような暖かい日があるかと思えば、真冬のような厳しい寒い日になるなど寒暖差が大きく、体調管理が難しく感じる日が続いています。そのような中ですが、1年生が育てているチューリップが葉を伸ばし、2年生は植木鉢で栽培していたチンゲンサイを収穫しました。春が少しずつ近づいてきています。

28日に「6年生を送る会」を実施しました。1年生から5年生は、優しく接してくれた6年生との思い出や児童のリーダーとして活躍した6年生の姿を思い浮かべながら感謝の気持ちを伝える言葉や練習を積み重ねてきた合唱や合奏の発表を6年生に贈りました。6年生も他学年からのメッセージにこたえるように思いを込めた発表を披露し、会場が温かい雰囲気にもまれ、全校で心に残る素敵な時間を過ごすことができました。

さて、3学期のある日、3年生の教室前を通るとトライアングルの音色が聞こえてきたので、音楽の授業だと思って教室に入ると理科で「音のせいしつ」の学習でした。トライアングルをピーター（ばち）で鳴らして触ってみるとトライアングルがビリビリと震えているのがわかり子どもたちは何度も音を出して、確かめていました。「音は空気が振動して伝わる」と言葉で聞いても理解できませんが、実際に試して振動に触れることで、より理解が深まります。音の学習の最後には輪ゴムをはじいたり、糸をこすったりして音を出すなどして、自分だけの楽器作りを楽しんでいました。

また、4年生は社会科で地域の伝統文化について、また、音楽科で和楽器について学習することから、2月に友禅染体験と箏の体験授業を実施しました。友禅染体験は、地域でいつもお世話になっている伝統工芸士の鈴木様に教えていただきました。それぞれ好きな図柄を選んで、色も自分で決めて丁寧に色を付けました。金箔をつけもらい素敵なコースターができ、嬉しそうに見せてくれました。箏体験では「お箏伝承の会」の皆様にご講師とな



っていただきご指導いただきました。初めにお箏について説明を聞いたあと、全員が親指に箏爪をつけて「さくらさくら」の曲を練習しました。楽譜が弦の数字になっていて、「七七八～七七八～」と弦を確かめながら、箏の演奏に挑戦しました。子どもたちは体験することを通して、日本の伝統文化のよさや美しさに触れることができました。それだけでなく、どちらの体験も子どもたちが集中して、活動に没頭していたのには驚かされました。子どもたちが生き生きとしていました。校内だけでなく地域や外部の方々のお力を借りて豊かな学習活動を行うことができました。



今は、調べたいと思えば情報がすぐ得られ、写真や動画でもみることができるものがたくさんあります。それを知るだけでも知識が広がりますが、実際にやってみる、体験することで実感を伴ってより深く知ることができます。体験的な学びを上手に取り入れながら子どもたちが豊かな学習を進めていくことが大事だとあらためて感じています。

今年度も1か月足らずとなりました。学年のまとめをしっかりとやり次の学年、6年生は中学校進学に向けて子どもたちが一日一日を大切に過ごせるよう教育活動を進めていきたいと思えます。

※過日実施しました「保護者アンケート」では、回答のみならず貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。裏面に児童アンケートとともに結果等を載せております。今後の教育活動に生かして参ります。

